

# 皆さんの安全と安心を守るために

## 消防組織の再編を検討しています



### 【問い合わせ】

消防本部消防総務課

☎ 24-9100 FAX 24-9111

✉ shoubou-soumu@city.iga.lg.jp



### 消防組織の今

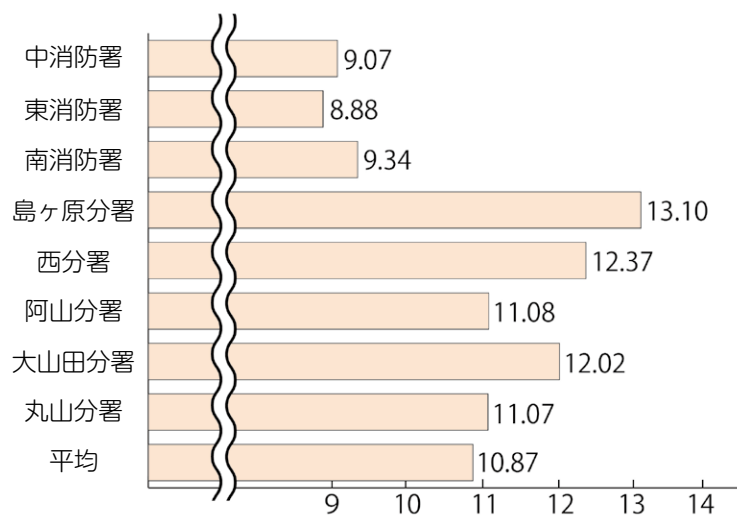
現在、中・東・南の3つの消防署と、島ヶ原・西・阿山・大山田・丸山の5つの分署で伊賀市の安全・安心を守っています。  
しかし、現在の消防本部の組織体制は、合併以降、見直しを行っておらず、さまざまな課題が生じています。

### 平成 30 年火災・救助・救急の出動件数

	火災 件数	救助 件数	救急		管外出動率 (%)
			件数	うち管外出動件数	
中消防署	32	61	1,684	48	2.9
東消防署	16	-	454	26	5.7
南消防署	6	-	478	13	2.7
島ヶ原分署	2	-	329	223	67.8
西分署	8	-	509	290	57.0
阿山分署	11	-	521	203	39.0
大山田分署	4	-	422	133	31.5
丸山分署	8	-	436	178	40.8
合計	87	61	4,833	1,114	-

この表は平成30年中の消防署・分署別の火災・救助・救急件数などを表したもので、**件数を見ると中消防署への負担が集中していることがわかります。**

### 平成 30 年 救急現場到着平均時間 (分)



また、出動件数から見ると、圧倒的に救急が多く、**それぞれの分署では管外への出動が多くなっています。**これは主に中心市街地を管轄する中消防署への応援出動で、中心市街地での需要が高くなっていることがわかります。  
また、東消防署と南消防署は出動件数が他の分署とあまり差が無いことがわかります。

救急現場への到着平均時間を比べると、管外への応援出動が多い分署では現場への到着平均時間が10分を超えています。  
消防署・分署別の負担の不均衡により、**現場への到着平均時間が長くなっていることが課題となっています。**

## 課題を解決するために

市では伊賀市消防本部組織再編計画の中間案を策定し、各消防署・分署の出動件数、現場への到着平均時間、将来の適正な人員の配置を考慮した組織の再編を検討しています。

計画案は11月21日に伊賀市消防委員会で審議いただき、それにかかる条例の一部改正案を12月市議会に提案しています。

今後は、次の2点について、令和2年4月1日から実施できるよう進めていきます。

### ○組織の強化

消防本部に通信指令課を新設し、組織強化を行います。

### ○消防署・分署の再編

中・東・南の3消防署は伊賀消防署に一本化して、現在の3署5分署を1署7分署に再編し、効率的な活動ができるようにします。

なお、需要の多い救急に対応するため、救急車は今まどおりの配置とします。

具体的には  
どう変わるのかな？



## 組織再編の効果

### ・通信指令業務の専門化

専任職員で業務を行い、通報を受けてから、出動までの時間短縮を図るとともに、効果的な現場活動の支援などを管理できます。

### ・指揮命令系統の一本化

1署体制となり、部隊の活動を二元管理することができ、他分署からの補充体制がスムーズに行え、必要な消防機材・人員を市内全域から迅速に投入することができます。

### ・指揮隊の創設

火災時などの初動時から現状把握や効率的な現場活動の指揮を執ることができます。

### ・火災予防体制の充実と強化

重大な消防法令違反建築物の公表制度開始に向けて、違反の是正や火災予防体制の充実と強化を図り、火災を出さないまちづくりを推進します。



## ココが聞きたい！Q&A

**Q** 消防組織を再編することによって、どんなメリットがあるの？

**A** 現在、車両や機材などが多いため、計画どおり更新が進まず、老朽化が進んでいます。これを市の規模に応じた体制に見直すことで、適切な車両や機材の更新が可能になり、持続可能な消防活動を行えるようになります。

**Q** 消防組織の再編で、サービスは低下しないの？

**A** 今回の組織再編により職員の適正配置を行うほか、1署体制とすることで、指揮命令系統が一本化されます。そのため、他分署からの補充をスムーズに行うことができるようになります。また、消防組織全体として円滑に消防活動に当たることができるようになります。

